

令和6年 火災発生概況

令和6年中における当消防本部管内の火災発生件数は、19件となっており、建物火災10件、車両火災2件、その他の火災7件となっています。

町別では、遠軽町で12件、湧別町で4件、佐呂間町で3件の火災が発生しています。火災損害状況については、建物焼損床面積1,173㎡、建物焼損表面積31㎡、車両焼損台数2台で、損害額は31,028千円の大変貴重な財産が失われ、また、火災による死者は1人で、負傷者は3人となっています。

用途別では、建物火災のうち養畜舎の火災が最も多く、4件発生しています。また、1か月当たりの火災発生件数は、1.6件となっています。

原因別の件数が多い順にみると、「配線器具」3件、「たばこ」3件、「ストーブ」2件と、多くは火気の取扱いの不注意や不始末から発生しています。

配線器具（テーブルタップ、延長コード及びマルチタップなど）による事故が増加傾向にあり、全国的に5年間で2倍になっています。ほこりがたまのまま放置したり、机や椅子の脚で踏むなど繰り返し負荷を加えたり、接続可能な最大消費電力を超えて使用したりすると、火災につながるおそれがあります。改めて配線器具やその使用状況をチェックして、事故を未然に防ぎましょう。

当消防本部管内では、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化され10年以上が経過し、交換時期を超えた機器が多く存在していることが予想されます。また、設置状況アンケートの結果から定期的に点検を行っている世帯は約4割で、電池切れや故障も確認されています。全国において住宅火災による死者の半数が「逃げ遅れ」であり、大切な家族の命を住宅火災から守るためにも、住宅用火災警報器を設置し適切な維持管理を行う必要があります。今後、消防機関といたしましては、より一層の住宅防火対策の推進、火災予防啓発活動の強化を図るとともに、住民一人ひとりの防火意識の高揚に努めてまいります。

近年の火災発生状況（令和4年～令和6年）

| 年別 | 出火件数 | | | | | | | 焼損状況 | | | | 損害額 (千円) | 死者 | 負傷者 | 焼損棟数 | り災世帯数 | り災人員数 | |
|----|------|----|-----|----|----|----|-----|------|------------|------------|-----------|-------------|--------|-----|------|-------|-------|-----------|
| | 建物 | | | | 林野 | 車両 | その他 | 合計 | 床面積 (㎡) | 表面積 (㎡) | 林野 (a) | | | | | | | 車両 (台) |
| | 全焼 | 半焼 | 部分焼 | ぼや | | | | | | | | | | | | | | |
| R6 | 2 | 2 | 1 | 5 | | 2 | 7 | 19 | 1,173 | 31 | | 2 | 31,028 | 1 | 3 | 15 | 4 | 9 |
| R5 | 3 | | 2 | 5 | | 5 | 8 | 23 | 246 | 21 | | 7 | 10,020 | 1 | 3 | 12 | 8 | 8 |
| R4 | 2 | | 1 | 3 | | 4 | 4 | 14 | 300 | 61 | | 5 | 42,646 | 2 | 3 | 10 | 7 | 13 |

身近にある火災の原因

放火・放火疑い

家の周りに置かれた不用品やごみステーションなどに放火される火災が全国各地で発生しています。普段から放火されない環境作りを行いましょう！



たばこ



たばこの小さな火種は、小さな火でもくすぶり続け、数時間経過してから燃え上がることがあります。たばこの始末は喫煙者のマナーです！

コンロ

鍋を火にかけていることを忘れてしまい、気づいたところには鍋から炎が上がり、火災に至るケースが特に多いです。火のついたコンロから離れるときはしっかり火を消しましょう！



配線器具

電気配線のショートやトラッキングによりコンセントから出火することがあります。定期的に清掃を行いましょう！



火遊び



ライターやマッチは子どもの手の届かないところで保管しましょう！小さな子は好奇心旺盛なので特に注意しなければなりません！

ストーブ

ストーブの周りに燃えやすいものは置いていませんか？また、適切に使用できていますか？ストーブから火災に至るケースは毎年のように発生しています！ご自宅のストーブを今一度、点検しましょう！

